

事前評価個表

整理番号	83
------	----

地域（地区）名	<small>つしま</small> 対馬地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長崎県	対象市町村	対馬市
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>対馬森林計画区は、長崎県の北西、日本海の西に位置し、市における森林面積は63,050ヘクタールで、総面積70,881ヘクタールの89パーセントを占めており、県内の森林面積率60パーセントを約30ポイントも上回り、水産業とともに森林・林業への期待が高い地域である。また、国指定天然記念物であるツシマヤマメコを始めとして、対馬特有の生物や大陸系の生物が数多く生息しており、希少かつ重要な自然環境を形成している。森林のうち、国有林は4,960ヘクタール、民有林は58,090ヘクタールである。民有林の人工林面積は、19,645ヘクタールで人工林率34パーセントと県平均42パーセントより低い。</p> <p>この人工林の齢級構成のピークは8齢級にあり、森林資源が充実してきている中、県産材の利用拡大を通じた林業の再生を図っていくことが望まれるとともに、森林の有する多面的機能の発揮を図るため、必要な施業を適時・適切に行い、森林の健全性を保っていくことが求められている。</p> <p>本計画に基づき、間伐等の採算性の向上に向けた施業の集約化、路網整備と高性能林業機械との組み合わせによる低コスト作業システムを構築しつつ、森林整備を行うことにより、森林の有する多面的機能の発揮も可能となる。</p> <p>なお、他産業との連携等に関しては、森林の多くが農耕地や住宅地に近接していることから、農林業の振興、農林道の整備や土木、公園、観光関係において関係部局等との連携を図っている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,508ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：1,077,018千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.13 (総便益(B) = 7,791,653千円、総費用(C) = 1,270,347千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の状況、森林整備の緊急性などから見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能の確保がもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p> <p>森林は、多様な機能を有しているがこれらの機能は一度失うと回復に長時間を要することから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。</p> <p>本計画は、森林の齢級構成等に応じた適切な森林整備等の計画をしているほか、効率性・有効性が認められる。</p> <p>このため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

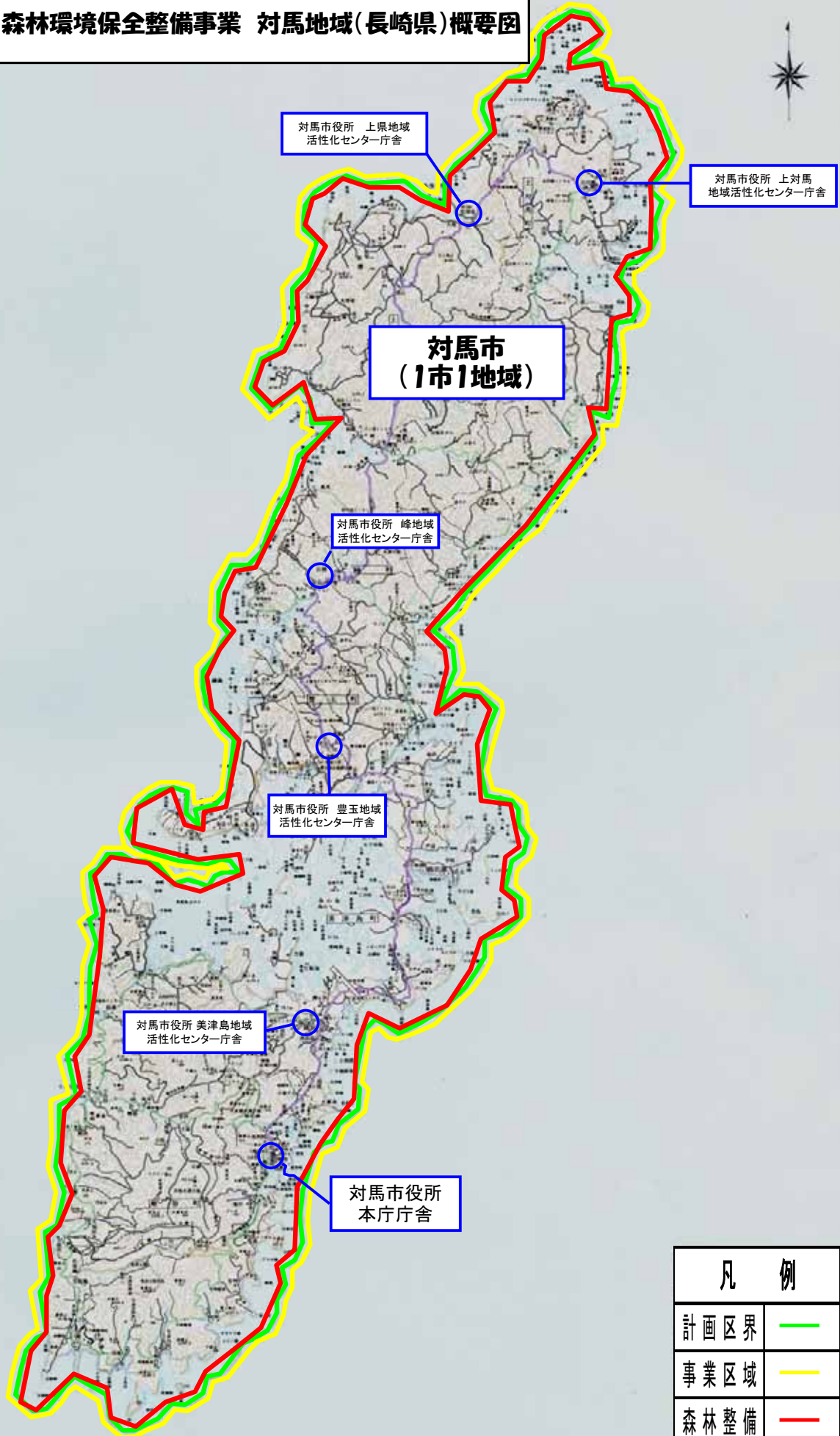
事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 対馬

長崎県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,378,742	
	流域貯水便益	757,455	
	水質浄化便益	1,293,141	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,933,465	
	土砂崩壊防止便益	14,373	
環境保全便益	炭素固定便益	779,714	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	634,763	
総 便 益 (B)		7,791,653	
総 費 用 (C)		1,270,347	
費用便益比	$B \div C = \frac{7,791,653}{1,270,347} = 6.13$		

長崎県市町位置図

森林環境保全整備事業 対馬地域(長崎県)概要図



対馬市役所 上対馬
地域活性化センター庁舎

対馬市
(1市1地域)

対馬市役所 峰地域
活性化センター庁舎

対馬市役所 豊玉地域
活性化センター庁舎

対馬市役所 美津島地域
活性化センター庁舎

対馬市役所
本庁庁舎

凡 例

計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—